

まだまだ課題が多そうである。小松左京氏の特別講演は、氏の科学と人類への熱い想いが軽妙に語られ興味深かった。伝統の雅楽でもてなされたバンケット、来年の筑波では何が飛び出すか楽しみである。

池本義範

運輸省船舶技術研究所

今年の大会は好天に恵まれた一方、残暑の厳しい3日間でした。前回は大学キャンパス内での開催でしたが、今大会は緑豊かな奈良公園にある美術館のような雰囲気のある奈良県新公会堂で行われました。会場はABC3つの講演室に分かれており、いずれも多数の聴講者を集めておりましたが、特にA室は能楽ホールを講演会場としており、舞台の上での発表となりました。A室登壇者の方々は貴重な経験をなさったのではないのでしょうか。

懇親会は古都奈良にふさわしく雅楽のライブ演奏が催され、奈良の夜景と中華料理を堪能しつつ、時のたつのも忘れて親交を深めることができました。

最終日はテクニカルツアーに参加させていただき、奈良先端大、ATRの2カ所を見学させていただきました。いずれもユニークな研究の一端を垣間見ることができました。

◆ 次回大会長からのメッセージ

岩田洋夫

次回大会長（筑波大学）

第4回大会は観光地奈良における開催であったせいか、最大級の発表件数と参加者を記録することになり、本学会の洋々たる将来を期待させる成果が挙げたように思われる。会場も風光明媚な奈良公園の中にあり、能舞台のあるホールを使った講演は趣を感じさせるものであった。ただし、A室とC室の広さが極端に違ったのは会場設定の難しさを感じさせた。さて、来年の第5回は筑波で行われるが、今回と前回の大会が地域性を生かした魅力を懇親会などに取り入れていたのに対して、残念ながら筑波には国を代表する観光地である奈良や札幌に比肩するような文化は存在しない。科学の町というのうたい文句であるが、大会をやる側からするとそれはなんら魅力ではない。しかし、一方で「つくば系」と呼ばれる先端的なアーティストをこの地が輩出している事実は見逃せない。以前VR文化フォーラムに来た明和電機がその一つの典型であるが、電子機械的なガジェットを駆使するのが「つくば系」の特徴である。来年の大会では、奇抜な仕掛けを随

所に仕込んで大会全体で「つくば系」を堪能してもらおうと考える今日この頃である。

◆ アンケートの集計結果

北村喜文

幹事（大阪大学）

本大会では、会場で参加者の皆様にアンケートへのご協力をお願いしました。多くの方からご回答をいただきましたので、その中から主な項目についての集計結果を報告させていただきます。回答総数は77です。あわただしい中、ご協力いただきました皆様にお礼を申し上げます。

[質問] 本大会でよかったものは何ですか。また、よくなかったものは何ですか。

最もよかったものを5、最もわるかったものを1として点数をつけていただきました。皆様からいただいた回答を平均し、その値の両側に分散を考慮した幅を持たせたグラフを図1に示します。

会場については概ねよかったとのご意見をいただきましたが、昼食場所やホテルが遠いといったご不満をお持ちの方も多かったです。口頭発表の会場については、能楽堂での発表がよかったなどの声があった反面、会場の広さにバラツキがあり、特にC室が狭すぎたことのご意見がありました。9月29日～10月1日という期をまたぐ日程には、無理をして参加していただいた方も少なからずいらっしゃったようでした。またこの日程は、一部の他学会の大会と日程が重なってしまっていたようで、掛け持ちされたため、ゆっくり参加していただけなかった方には申し訳ございませんでした。

本大会では、大会に関する情報のお知らせと発表や参加登録などのお申し込みに、ホームページ（HP）と電子メールを中心に利用いただきましたが、わかりやすかった、スピーディだなど、概ね好意的に受け取っていただけたようです。しかし、エラーが生じて閉口したといった声もありました。

口頭発表の内容については、興味深い発表が多かったと思われた方も多かったようですが、考察や検証が不十分な発表が多い、査読も必要ではないか、といったご意見もありました。大会論文集についても、内容が充実していた、見やすくまとまっていたというご意見の他に、分厚くて重たい、1件あたり2ページに制限するべきではないか、CD-ROMなどによる電子化も検討すべきだなどのご意見もありました。

技術展示や作品展示については、レベルが高かった、実際に触って体験できたのが良かった、会場が1ヶ所に集中していたので良かった、などの意見が寄せられました。

[質問] 口頭発表（論文形式による研究成果の発表）について、最もよかったセッションは何ですか。

回答をいただいた方の中で、5名以上の方からの支持があったセッションは、「22A：複合現実感」と「32A：ウェアラブル」の2つでした。これらには、発表の内容が面白かった、内容・発表ともにレベルが高かった、といった意見の他に、VRの今後の展開について考えさせられた、夢を感じた、座長の先生の進行が的確で聞きやすかった、質疑応答・意見交換が活発で活気があった、などの感想も添えられていました。

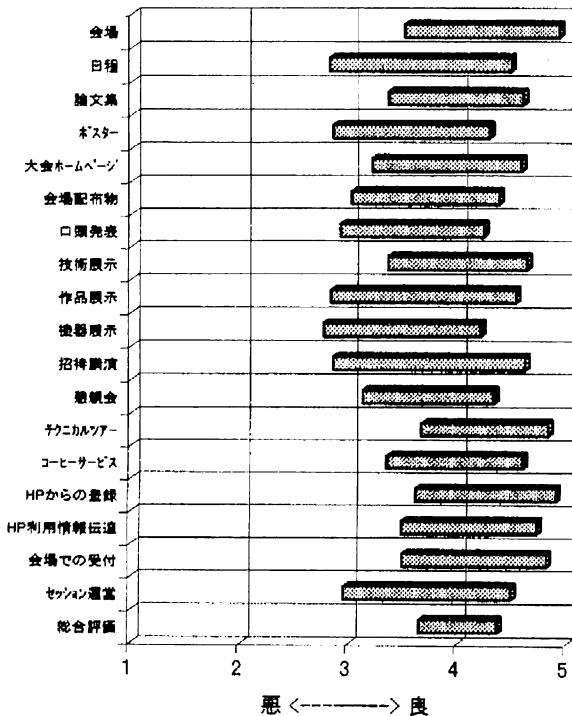


図1：本大会でよかったもの

[質問] あなたの本大会への参加目的は達成されましたか。

図2のように、90%の方が、「大いに達成された」または「まずまず達成された」と答えられました。

[質問] あなたは、来年の第5回大会（2000年9月 つくば）にも参加されますか。

図3のように、74%の方が、すでに第5回大会に参加の方向でご検討いただいていると答えてくださいました。是非、よろしくお願いいたします。

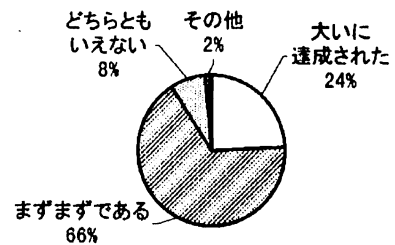


図2：参加目的は達成されましたか

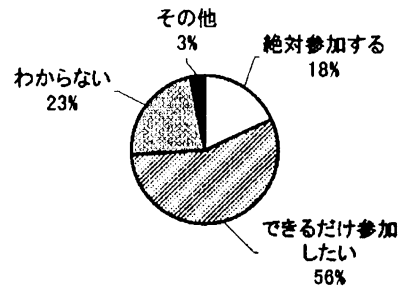


図3：第5回大会にも参加しますか